

# 安全のしおり

令和6年4月1日  
通算第341号  
安全・適正就業委員会

【安全は 無理せず焦らず 油断せず】・【高齢者 自信過剰は 事故のもと】

◆野田市は全国的にも交通事故の多い町です。皆さん本当にお気をつけ下さい！

4月6日(土)～4月15日(月)は春の全国交通安全運動の期間です。

【スローガン】 挙げる手を やさしく見守る 横断歩道

また4月10日(水)(と9月30日)は交通事故死ゼロを目指す日です。

千葉県民のさらなる意識の向上を図り、県民一人一人が交通ルールを守り、交通マナーを実践するなど、交通事故にさらに注意することによって、近年の交通事故死傷者数の減少傾向を確実なものにする日となっています。

● こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保を心掛けましょう。

入学・入園を迎えるこの時期は、こどもの関係する事故が増加する傾向にあります。

昨年中、こどもの交通事故死者数は2人(前年比±0人)、重傷者数は73人(前年比+4人)であり、依然としてこどもたちが交通事故により死傷する被害が続いています。

こどもに対して、思いやりを持った安全運転の励行と交通安全をこの時期は特に意識しましょう。

● 運転に不安を感じたら、運転適性相談窓口や安全運転相談等の相談機関を利用しましょう。

◆運転に対する相談窓口

・安全運転相談ダイヤル 電話番号 #8080

※高齢ドライバーやそのご家族等に対し、各都道府県警察の担当職員(看護師等の医療系専門職員をはじめとする専門知識の豊富な職員)が相談にのってくれます。

● 自転車に乗る際はヘルメットを着用しましょう。

その他、自転車に反射器材をつけることや自転車保険に加入することなども行いましょう。

● 飲酒運転は絶対にしないこと！

飲酒運転は運転手本人、車やお酒の提供者、同乗者が厳しく罰せられるだけでなく、被害者やその家族の人生をも大きく狂わせる結果につながります。以下を実践してください。

一、道路交通法規を遵守し、飲酒運転は絶対にしない。

一、車両を運行する際に、従業員の飲酒の有無を確認する。

一、飲酒運転を行うおそれのある人に対して車両や酒類を提供しない。

一、飲酒運転を発見したときは、速やかに警察に通報する。

一、「飲酒運転をしない、させない、許さない」という飲酒運転根絶の理念を持ち続け、社会から飲酒運転が根絶されるよう、取組を継続する。